

クラス番号	642	担当教員名	天池 洋介
テーマ	若者の労働と生活の支援 ー若者による若者のエンパワーメントー		
著書・論文	論文：「スウェーデン労働組合の経済政策」『日本福祉大学社会福祉論集(130)』（2014） 「労働組合における〈場〉の機能 ー共存型居場所による多様性のある労働組合の展望ー」 『社会文化研究 第17号』（2015）		
研究課題等	研究課題：スウェーデンの経済政策、福祉国家制度の研究 労働市場における若者のエンパワーメント		

ゼミナール概要

キーワード：仕事、労働、就職活動、労働組合、若者、カルチャー、居場所、共同、社会的起業

<目的>

終身雇用制度が大きく揺らいで、同時に若者を中心にバイトや派遣などの非正規雇用が急速に広がっています。本来、健康で元気があり、他の世代よりも仕事ができるはずの若者が、低賃金や劣悪な雇用条件の広がりによって人為的に「社会的弱者」とされてしまっています。また、日本は「人生前半の福祉」が大きく遅れており、若者に対する支援がほとんどなされていないため、若者がその力を発揮することが難しくなっています。

一方で2015年、SEALDs というなんの後ろ盾もない若者の自主的なネットワークが、若者とはもともと距離があると考えられてきた政治の場で脚光を浴び、思いもよらぬ形で国政を大きく動かししました。彼らに限らず、まちづくりや地域おこし、もちろん福祉の現場でも、徐々に若者が前面に出て、活躍するようになってきています。そこで若者たちはどのように閉塞感を打ち破り、社会的弱者を脱し、新しい運動や労働、生活を作り出しているのか、特に若者の文化の視点から具体的な事例をもとに考え、新しい若者のあり方とその支援のあり方を考察します。

<内容・授業計画>

3年の前期では、文献資料（高橋源一郎×SEALDs (2015) 『高橋源一郎×SEALDs 民主主義ってなんだ？』河出書房新社）を使って、新しい若者の現状を学習します。後期では、前期で学んだことを実際の若者の状況に適用し、新しい若者のあり方、支援のあり方、そして若者がリードする新しい福祉のあり方を「若者自身によるエンパワーメント」の視点から考察します。また平行して、基礎的技術の習得をします。本の読み方、資料の調べ方、文章の書き方、討論の仕方を学びます。仕事や生活をする上で人間関係は欠かせないものですし、若者が抱える多くのトラブルの根源となるものなので、人間関係や居場所の作り方をしっかりと身につけます。

基本的な知識や技能が身についたら、主に長期休暇期間にフィールドワークに出かけます。

4年は相談業務の知識を学び、卒業論文を書きます。卒業論文は、自分の興味のあることを論理的に考え、とことん追求し、客観的な資料で裏付け、わかりやすく他の人に伝えるという、調査やプレゼンテーションのための重要なトレーニングです。けっこう大変ですが、絶対に将来の役に立つのでがんばって書いてもらいます。

<方法>

グループ・ディスカッションとグループ作業が中心です。自主学习と共同作業を両輪として進めていきます。

フィールドワークでは、その分野の人の内面に迫ってもらいますので、いろいろな人と円滑にコミュニケーションをとれる力を鍛えます。

本ゼミの研究対象は皆さん自身、もしくは皆さんの日常生活です。マンガや雑誌、音楽や動画、おしゃべりやバイトなどが研究対象です。皆さんが何気なく過ごしている日々を理論的・客観的にとらえ、問題を抽出していきます。

担当教員からのメッセージ



エントリーシートには、1) 今の若者の抱える困難と今の若者の良い点、2) 自分の好きな音楽やファッション、マンガ、スポーツなど文化について、その理由も含めて「熱く」書いてください。質問があったら、gsnqm319@yahoo.co.jp までメールを送ってください。オリエンテーションやゼミ見学、もしくは個別相談に「必ず」参加してください。フィールドワークは夏期休暇中に広島県尾道市に行く予定です（参加は任意）。また、愛知県内のカフェや雑貨屋、福祉の現場などの調査や、卒論を書くための合宿もします。「楽なゼミ」ではなく、「楽しいゼミ」にしたいと思っています。いろいろな人と話し合い、学びあい、共感しあって、クオリティの高いものを作り上げていく。そんな楽しい経験を自信に変えて、社会に乗り込んでもらいたいです。